## 8 高齢者の人権について、あなたのお考えをお聞かせください。

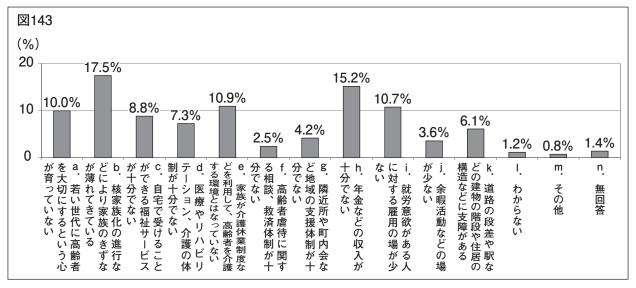
質問25 高齢者が暮らしていくうえで、特に支障となったり、問題があると感じられるのはどのようなことですか。次の中からあなたの考えに近いものに○をつけてください。 (○はいくつでも)

- 1 若い世代に高齢者を大切にするという心が育っていない
- 2 核家族化の進行などにより家族のきずなが薄れてきている
- 3 自宅で受けることができる福祉サービスが十分でない
- 4 医療やリハビリテーション、介護の体制が十分でない
- 5 家族が介護休業制度などを利用して、高齢者を介護する環境とはなっていない
- 6 高齢者虐待に関する相談、救済体制が十分でない
- 7 隣近所や町内会など地域の支援体制が十分でない
- 8 年金などの収入が十分でない
- 9 就労意欲がある人に対する雇用の場が少ない
- 10 余暇活動などの場が少ない
- 11 道路の段差や駅などの建物の階段や住居の構造などに支障がある
- 12 わからない
- 13 その他 (

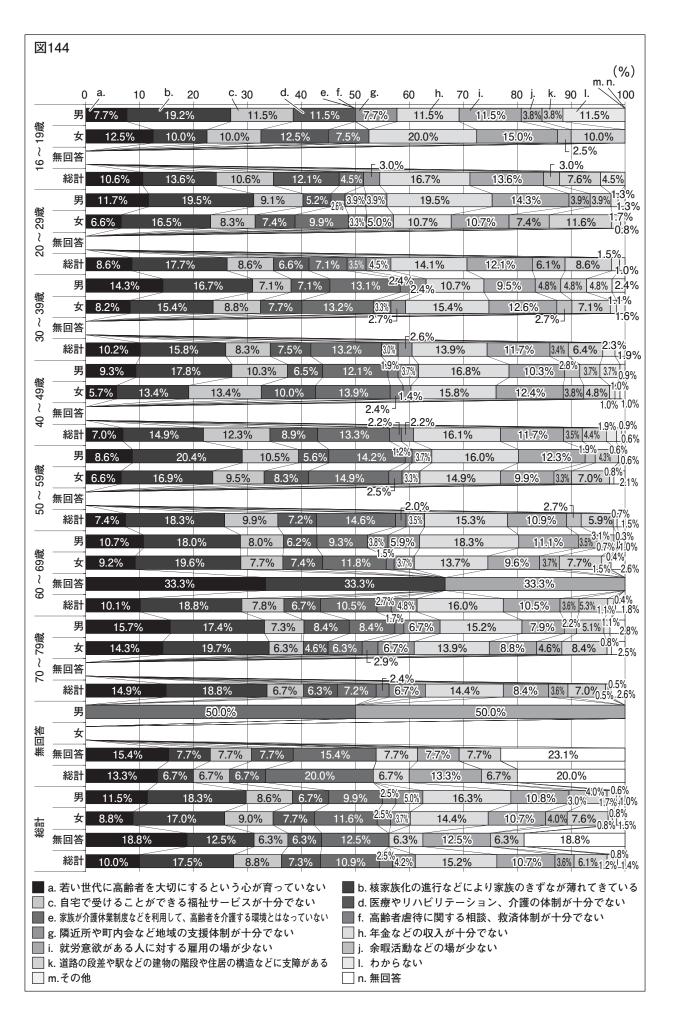
## 分析〉

○ **高齢者**にとって支障となったり問題があると感じるものは、「b. 核家族化の進行などにより家族のきずなが薄れてきている」(17.5%)が最も高く、次いで「h. 年金などの収入が十分でない」(15.2%)、「e. 家族が介護休業制度などを利用して、高齢者を介護する環境とはなっていない」(10.9%)の順になっている。 [図 143]

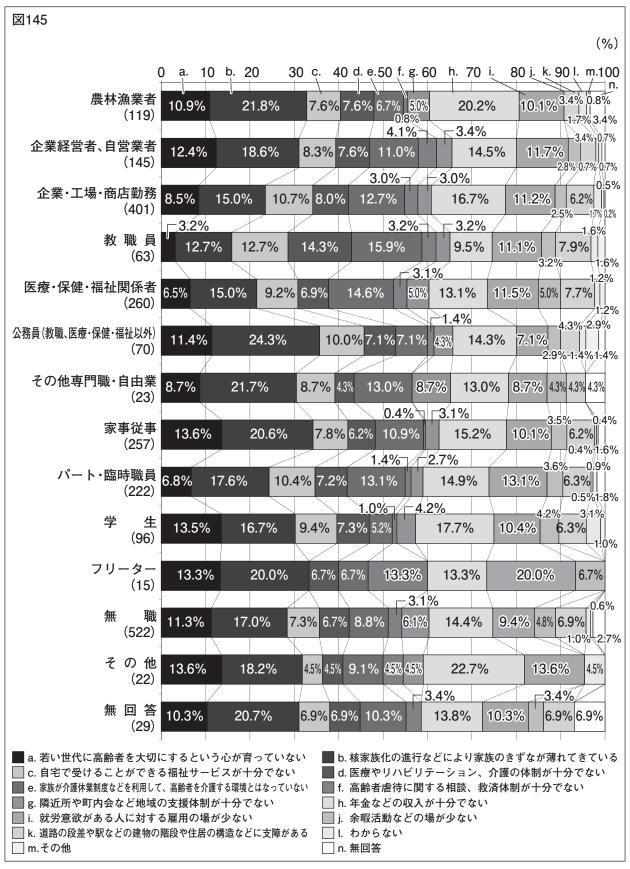
)



- **性別**[図 144]では、ほとんど差異はない。「a. 若い世代に高齢者を大切にするという心が育っていない」は、男性が 11.5%、女性が 8.8%で男性が 2.7 ポイント高い。「e. 家族が介護休業制度などを利用して、高齢者を介護する環境とはなっていない」は、男性が 9.9%、女性が 11.6%で女性が 1.7 ポイント高い。「k. 道路の段差や駅などの建物の階段や住居の構造などに支障がある」は、男性が 4.0%、女性が 7.6%で女性が 3.6 ポイント高い。
- **年齢階層別**[図 144]では、「b. 核家族化の進行などにより家族のきずなが薄れてきている」が 16~19 歳 (13.6%)、40~49 歳以外の年代は高く、なかでも 60~69 歳及び 70~79 歳 (18.8%) が最も高く、次いで 50~59 歳 (18.3%)、20~29 歳 (17.7%) の順に高くなっている。「h. 年金などの収入が十分でない」は 16~19 歳 (16.7%) が最も高く、次いで 40~49 歳 (16.1%) が高い。



○ 職業別[図 145]では、同一傾向であるが、数値で最も高いのは「b. 核家族化の進行などにより家族のきずなが薄れてきている」は学校、医療・保健・福祉関係者以外の公務員(24.3%)、農林漁業者(21.8%)が高い。「h. 年金などの収入が十分でない」は農林漁業者(20.2%)が高い。学校の教職員の「d. 医療やリハビリテーション、介護の体制が十分でない」(14.3%)、「e. 家族が介護休業制度などを利用して、高齢者を介護する環境とはなっていない」(15.9%)はすべての職種の中で最も高い。

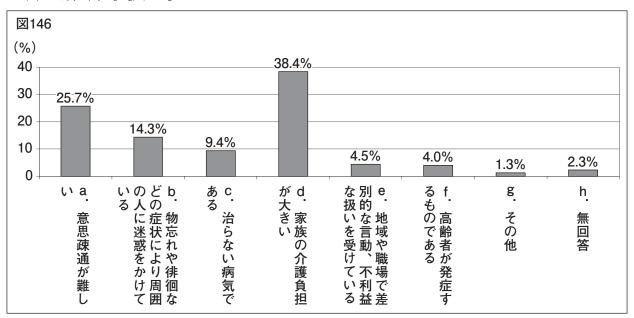


質問26 認知症の人について、どのような印象・感想をお持ちですか。次の中からあなたの考えに近いものをお答えください。(○はいくつでも)

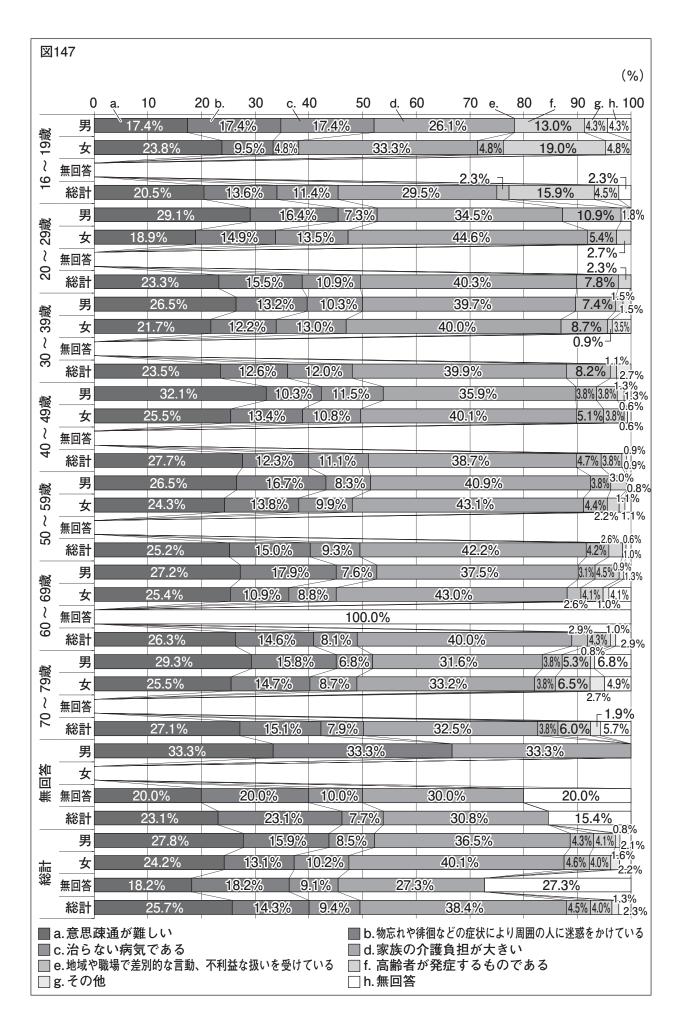
- 1 意思疎通が難しい
- 2 物忘れや徘徊などの症状により周囲の人に迷惑をかけている
- 3 治らない病気である
- 4 家族の介護負担が大きい
- 5 地域や職場で差別的な言動、不利益な扱いを受けている
- 6 高齢者が発症するものである
- 7 その他()

## 〈分析〉

○ **認知症の人**についての印象、感想は「d. 家族の介護負担が大きい」(38.4%)が最も高く、次いで「a. 意思疎通が難しい」(25.7%)、「b. 物忘れや徘徊などの症状により周囲の人に迷惑をかけている」(14.3%)の順に高い。[図 146]



- **性別**[図 147]では、ほとんど差異がないが、「d. 家族の介護負担が大きい」では男性が 36.5%、女性が 40.1%で女性の方が 3.6 ポイント高い。「a. 意思疎通が難しい」では、男性が 27.8%、女性が 24.2%で男性の方が 3.6 ポイント高い。
- **年齢階層別**[図 147]では、ほとんど差異はないが「d. 家族の介護負担が大きい」は、50~59歳(42.2%)、20~29歳(40.3%)、60~69歳(40.0%)が高い。



○ 職業別[図 148]では、すべての職種とも「d. 家族の介護負担が大きい」が高く、なかでもパート・臨時職員(46.0%)、次いで学校の教職員(45.2%)、主として家事に従事(42.5%)が高い。「b. 物忘れや徘徊などの症状により周囲の人に迷惑をかけている」は、その他専門職・自由業(35.3%)が高い。

